

地方創生の実現に向けた地域高規格道路「中津日田道路」の整備促進を求める決議

高規格幹線道路等により形成される高速道路ネットワークは、流通や観光等による経済効果をもたらすほか、地域間交流を活性化させるなど、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するとともに、地方創生を支える重要な社会基盤である。

大分県の県北6市（中津市、日田市、宇佐市、豊後高田市、杵築市、国東市）、及び福岡県豊築地域（豊前市、築上町、上毛町、吉富町）においては、地方創生の実現に向けて精力的に取り組んでいるところであるが、産業、観光、生活等あらゆる面での基盤となる地域高規格道路の整備は、社会資本整備が十分でない地方にとっては、欠かせない事業である。

現在、整備が進められている中津日田道路は延長約50kmに対し、供用開始している区間はわずか15kmで、大部分が未開通の状況である。

まずは、事業中区間を早期に完成させ、着実に効果を発揮させることが必要である。平成27年4月からは、「日田山国道路」が新規に事業着手され、沿線住民の機運は一層高まっているが、「耶馬溪～山国間」などは未だ事業実施の時期が決まっていない状況であり、こうした未着手区間は、早期に事業化することが必要である。

今後、中津日田道路の整備がさらに進められることにより、県北6市、及び由布地域、大分県府地域の広大なエリア、また、久留米市、福岡市、北九州市を循環する高速道路ネットワークが形成され、地域の連携や物流の円滑化、及び効率化が図られ、一体性の高い経済圏域が構築される。このことは、大分県北西部、及び福岡県豊築地域はもとより、大分県、福岡県全体の産業経済のさらなる発展につながっていくものと確信している。

また、防災面では、甚大な被害が予想される南海トラフ巨大地震など大規模災害の際には、救援物資の搬送をはじめ、被災地の復旧復興を支援する柱としての役割が期待されている。

また、救急搬送の面では、人命・医療を支える「命をつなぐ道」として早期開通が望まれている。

よって、地方創生の実現に向けて欠かせない交通基盤である地域高規格道路「中津日田道路」の早期完成に向け、次の事項について強く要望する。

記

1. 事業中区間の早期完成

- (1) 国直轄事業(権限代行)で進める「三光本耶馬溪道路」の早期開通
- (2) 大分県が整備している「耶馬溪道路」と「日田山国道路」の整備支援

2. 未着手区間の早期事業化

- (1) 「耶馬溪～山国間」及び「日田市三和～大分自動車道」の事業化に向けた調査支援

以上、決議する。

平成28年 3月25日

大分県中津市議会